

# 競走馬リハビリテーションセンター

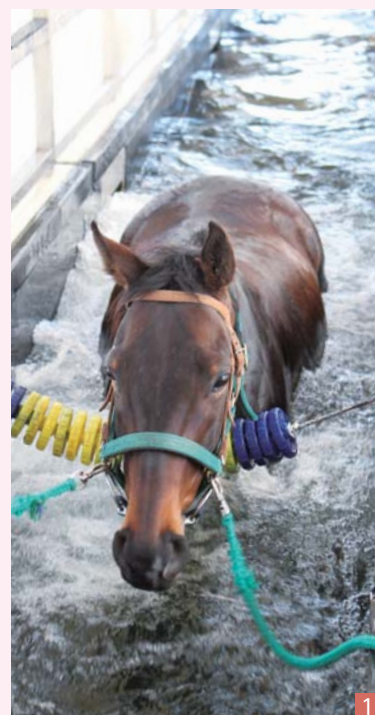
Racehorse Rehabilitation Center

## フルパフォーマンスでの競走復帰を目指して

競走馬リハビリテーションセンターは、現役競走馬のリハビリテーションを専門とする日本で唯一の施設として、1963年に福島県いわき市に開設されました。

馬の運動器疾患は下部部に好発します。当センターでは、下部部を冷却しながら運動できるウォーターウォーキングマシン、下部部の負荷を軽減しながら運動できるウォータートレッドミルやスイミングプール、馬専用のランニングマシンであるトレッドミルを備え、馬の病態やリハビリテーションの進度に合わせてこれらの施設を活用しています。日々のトレーニングの疲れを癒すための馬専用の温泉も併設しています。また、定期的にレントゲン検査・エコー検査を行い療養馬の病態を把握することで、最適なりハビリテーションメニューを設定します。さらに、競走馬総合研究所やトレーニング・センターと連携し、現行メニューの検証・改善、新たな治療・検査法の調査研究等も行っています。

当センターでは、獣医師・装蹄師を含むスタッフが連携することで、質の高いリハビリテーションを提供し、療養馬のターフへの復帰をサポートします。



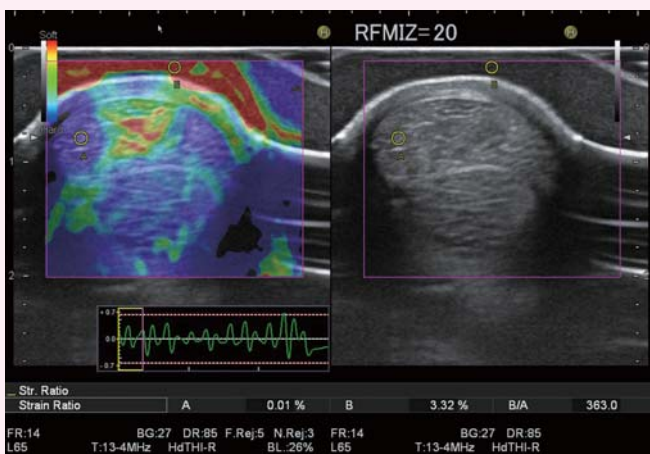
1 ウォータートレッドミル: 水中にベルトコンベアを備え浮力によって肢への負担を軽減。

2 高速トレッドミル: ベルトコンベア上で最大速度50km/hまで走行可能。

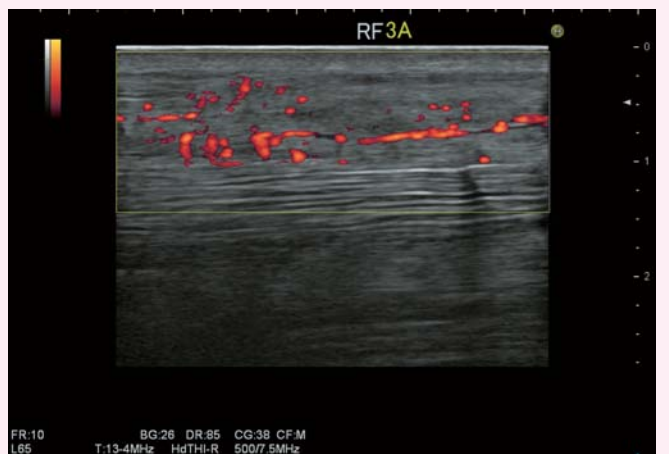


- 3 調教馬場：1周400mのダートコースで、最終的に20s/F（ハロン）のキャンターを実施。
- 4 スイミングプール：水深3m、1周40mで、肢に負担をかけず心肺機能を向上。
- 5 ウォーターウォーキングマシン：直径12.5m、水深40cmで、肢を冷却しながらのクーリングダウンが可能。
- 6 温泉：良質な泉質である湯本温泉を利用し、筋肉疲労の回復やリラックス効果がある。

## 調査研究



7 エラストグラフィー：腱の硬さを色で表示し、腱の損傷程度を評価する。



8 パワー Doppler：腱内の血管の分布から、腱の損傷程度を評価する。